



## 更なる利便性の向上に繋げるため 国道348号整備促進期成同盟会が設立

「国道348号整備促進期成同盟会設立総会」が10月11日、山形国際交流プラザ（山形市）で開催されました。総会には、沿線関係市町である山形市、上山市、長井市、南陽市、川西町、小国町、飯豊町、白鷹町の各市町長、各市町議会議員が出席し、期成同盟会の規約や役員を選出などについて協議が行われ、会長に山形市の佐藤市長、副会長に長井市の内谷市長と白鷹町の佐藤町長が選出されました。

国道348号は、これまでの道路改良などにより利便性が向上し、交通量が増加しておりますが、その一方で、急勾配や急カーブが続くことなどが要因で、交通事故が絶えない状況です。また、昨年7月の豪雨の際には滝野地内の道路脇の斜面が崩落し、現在も復旧工事が行われています。期成同盟会ではそれらの課題を解決するため、国道348号の新ルートでの高規格化整備を目指し、来年度から国や県への要望活動や、地域の方への啓発活動などを行っていく予定です。



設立総会における協議の様子



## 自分らしさを大切に 荒砥小学校で人権教室を開催

10月15日人権擁護委員の方々が、荒砥小学校4年生児童を対象に人権教室を開催しました。代表して鈴木和夫委員が「誰もがみんな幸せになるために生まれてきました。自分自身も、そしてお友達の人権も守ることが大切です」とあいさつしました。その後『白い魚とサメの子』の紙芝居を委員の方々により、あたたかい声で読み上げられました。「仲間とは、全てが同じ人間になることではなく、ありのままの自分を認めてもらうこと。自分らしさを大切にしてほしい」といった内容で、児童もキラキラした瞳で「友達を大切にしたい」「自分らしさを大切にしたい」と感想を発表しました。



児童に人権教育を行う鈴木委員



## 温かい見守りで 白鷹町更生保護女性会があいさつ運動を実施

白鷹町更生保護女性会（梅津ツヤ子会長）が10月12日から26日にかけて、早朝に町内各小学校と白鷹中学校を訪問し、あいさつ運動を行いました。

この活動は、次世代を担う子どもたちの健全育成を願い毎年行っているものです。登校する子どもたちとあいさつを交わすと、手づくりのしおりとばんそうこうを手渡し、「今日も1日元気に頑張ってくださいね」と声をかけました。登校する子どもたち一人一人を笑顔で迎えながら温かく見守っていました。



笑顔であいさつを交わし、  
手づくりのしおりを配る会員の方々



## 芸術の秋— 「第51回白鷹町芸術祭」を開催

10月29日（金）から31日（日）の3日間、白鷹町文化交流センターあゆむで第51回白鷹町芸術祭が開催されました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部オンライン開催となりましたが、今年は感染症対策を徹底した形で、各部門ごとのステージ発表が行われました。

おんがく部門では、県立荒砥高等学校吹奏楽部による見事な演奏のほか、小学生による花笠踊りや、楽器の演奏、さらには白鷹町少年少女合唱団の美しいハーモニーが会場を包み込みました。

芸能部門では、白鷹高等専修学校の生徒によるファッションショーが開催され、観るものを惹きつける演出で、まさしく「服の力」を体感できるステージとなりました。

展示部門では、写真や絵画、手芸品など多くの作品が展示され、訪れた人は作品に見入っていました。



東根小学校



蚕桑小学校



白鷹町少年少女合唱団



荒砥高校吹奏楽部



展示



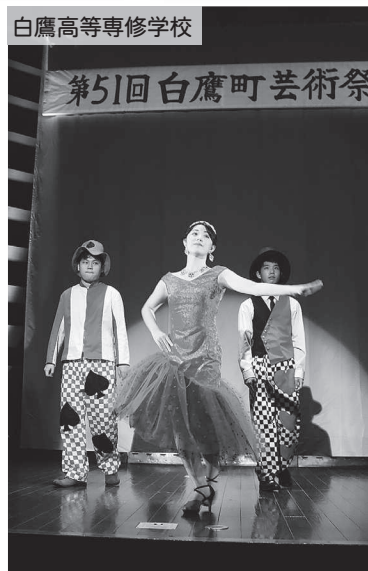
展示



展示

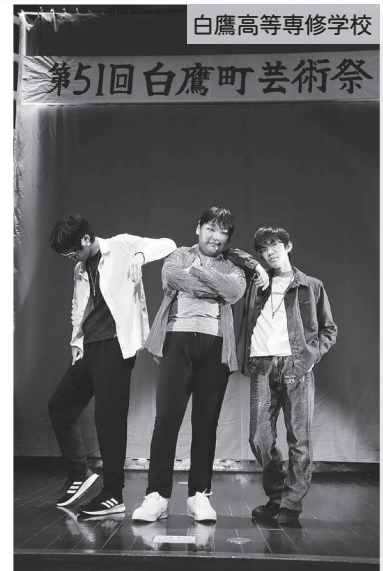


展示



白鷹高等専修学校

第51回白鷹町芸術祭



白鷹高等専修学校

第51回白鷹町芸術祭